

「自動出荷」を始めるための基本知識

EC物流は「手動出荷」から「自動出荷」の時代へ



はじめに

EC物流を効率化する「**自動出荷**」についてまとめています。

▼この資料を読むと分かること

- 「自社出荷」「外部委託」と「自動出荷」の違い
- 「自動出荷」のメリット
- 「自動出荷」を実現するための条件
- 「自動出荷」サービス、LOGILESSの内容

バックヤード効率化サービスの全体像を理解するためには、
[「バックヤード業務を効率化する5つの方法」](#)
も合わせてご参照ください。

一般的な2つの出荷形態

作業工程の多い出荷までのプロセスには、一般的な2つの出荷形態があります。

① 自社出荷

自社で受注情報の管理や出荷作業を行う。



② 外部委託（物流倉庫の活用）

商品の保管や出荷作業を外部に委託する。



新たな「自動出荷」という選択肢

近年、ITを活用した「自動出荷」という出荷形態が登場しています。

③ 自動出荷

自社で何もしなくても、
商品が自動でお客様のもとに届く。

※出荷状況の確認や問い合わせ対応など、最低限の業務は発生します。



自動出荷のメリット

自動出荷には多くのメリットがあります。

(例)

- ☑ 毎朝、手作業で行っている受注情報の確認がいらなくなる
- ☑ 多くの時間や人員を使う出荷業務がいらなくなる
- ☑ 効率化システムを使っている必要となる、情報の連携といった業務がなくなる

自動化するためには初期コストがかかりますが、

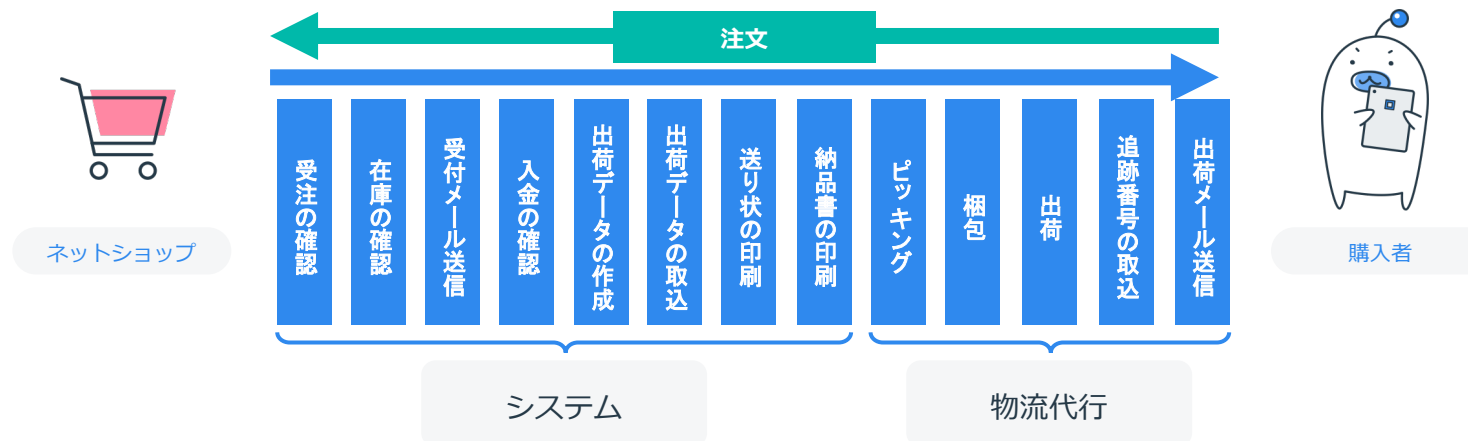
自動出荷なら、**自社リソースを削減しつつ、正確でスピーディーな配送が実現**します。

自動出荷を実現するための条件

自動出荷は「モノ」と「情報」を一元管理することで実現できます。

「モノ」は、保管・出荷作業を代行する物流倉庫が必要
「情報」は、受注・在庫・出荷などの情報を処理するシステムが必要

⇒自動出荷の実現には、**物流倉庫**と**システム**が不可欠です。



LOGILESSで始める自動出荷

LOGILESSは、自動出荷を実現するための「システムと物流倉庫」をセット提供するサービスです。誰でも簡単に自動出荷を始められます。



ネットショップと物流倉庫が一緒に使うシステム

ニーズに合わせて選べる倉庫

まとめ

- 出荷形態には、一般的な「①自社出荷」「②外部委託」の二つの形態に加え、ITを活用した、「③自動出荷」が存在する。
- 自動出荷とは、ネットショップのバックヤード業務を最も効率化する形態で、「**自社でなにもしなくても、お客様に商品が届く**」。
- 自社リソースを削減しつつ、**正確でスピーディーな配送**が実現できる。
- 自動出荷するには、**物流倉庫とシステム**が必要。
- LOGILESSは「**物流倉庫とシステム**」をセット提供するサービスで、簡単に**自動出荷**が始められる。

LOGILESSについて

自動出荷でEC物流を「あるべき姿」に変えていく。

受注・出荷などの大変な業務が自動化され、配送拠点も配送方法も自由自在に選べる。

私たちは、それが「ECのあるべき姿」だと考えています。

LOGILESSはネットショップと物流倉庫が共同で使うシステムです。

これまでバラバラだった情報は一元化され、全ての関係者はシームレスにつながります。

ネットショップはLOGILESSを使うことで、
全国どこでもニーズに合う倉庫から自動で出荷ができるようになります。



LOGILESSに興味がある方はこちら

 [お問い合わせフォーム](#)

参考になるその他の資料はこちら

 [お役立ち資料ダウンロード](#)



会社情報

会社概要

会社名： 株式会社ロジレス

代表者： 代表取締役 西川真央

事業内容： LOGILESSの企画・開発・運営・販売

設立： 2017年2月21日

資本金： 150万円（資本準備金等を含む累計調達額5000万円）

所在地： 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-34-7
丸善大塚ビル 3F

実績

スタートアップコンテスト
「IVS LaunchPad」 「incubate camp 12th」
「B Dash Camp 2019 Fall」
に登壇

メディア掲載

週刊アスキー

TC TechCrunch

ECM3カ9
MEDIA & YOUR CONCIERGE

THE BRIDGE

LOGI-BIZ online

LOGISTICS TODAY